

まちを知る 議会を知る

みのかも 市議会 だより

2018.11.1

No.175

平成30年市議会第3回定例会
平成29年度一般会計ほか各会計決算を認定

平成30年市議会第1回臨時会
議会構成を決定
議長に高井厚議員、副議長に牧田秀憲議員

議会による事業評価を実施、市長に提言

おん祭MINOKAMO2018秋の陣～太田宿中山道まつり～

主な内容

- ◆臨時会の審議結果 ……2P
- ◆定例会の審議結果 ……3・4P
- ◆決算審査の概要 ……5・6P
- ◆委員会審査の概要 ……7・8P
- ◆市政一般に対する質問と答弁
……………9～16P
- ◆議会日誌・お知らせ ……16P
- ◆議員紹介 ……17P
- ◆活動ピックアップ・お知らせ
……………18P

臨時会の審議結果



議長
高井 厚



副議長
牧田 秀憲

改選後の臨時会、議長に高井厚議員、副議長に牧田秀憲議員、議会の新体制決まる
10月18日に、市議会第1回臨時会を開催しました。

平成30年

第1回

臨時会

平素より市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

このたびの臨時会におきまして、議長、副議長に就任いたしました。多様な意見を集約し、公正かつ円滑な議会運営に全力を傾けて取り組んでまいり所存です。

市民の皆様におかれましては、引き続き議会へご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



新たに選任された
渡辺 孝男議員

議会選出監査委員

議案の審議結果

議案番号	議案名	主な内容	結果
選第2号	議長選挙	議長を決める選挙	高井厚議員 当選
選第3号	副議長選挙	副議長を決める選挙	牧田秀憲議員 当選
選第4号	美濃加茂市・富加町中学校組合議会議員の選挙	組合議会議員を決める選挙	高井厚議員、牧田秀憲議員、渡辺義昌議員、坂井文好議員、前田孝議員 当選
承第13号	専決処分の承認を求めることについて平成30年度美濃加茂市一般会計補正予算(第6号)	7,338万8千円の増額、予算総額は211億5,734万3千円	原案承認(全会一致)
議第53号	平成30年度美濃加茂市一般会計補正予算(第7号)	5億1,741万3千円の増額、予算総額は216億7,475万6千円	原案可決(全会一致)
議第54号	平成30年度美濃加茂市水道事業会計補正予算(第3号)	(収益的支出)410万3千円の増額、予算総額は15億2,001万3千円	原案可決(全会一致)
議第55号	美濃加茂市監査委員の選任	監査委員のうち議会から選任された議員の任期満了に伴う後任委員の選任同意(渡辺孝男議員 新任)	原案同意(全会一致)
議第56号	美濃加茂市山之上財産区管理委員の選任	委員の欠員に伴う後任委員の選任同意(酒向孝志氏 新任)	原案同意(全会一致)
議第57号	予算決算特別委員会の設置	特別委員会を設置するもの	原案可決(全会一致)
議第58号	新庁舎建設特別委員会の設置	特別委員会を設置するもの	原案可決(全会一致)

各委員会の構成

第1回臨時会において、各委員会の構成が下記のとおり決定されました。

- 議会運営委員会** 委員長：片桐 美良 副委員長：森 弓子
委員：永田 徳男 森 厚夫 酒向 信幸 村瀬 正樹 渡辺 義昌
- 文教民生常任委員会** 委員長：渡辺 義昌 副委員長：金井 文敏
委員：田口 智子 村瀬 正樹 片桐 美良 山田 栄 柘植 宏一 牧田 秀憲
- 企画建設常任委員会** 委員長：酒向 信幸 副委員長：森 弓子
委員：前田 孝 永田 徳男 高井 厚 渡辺 孝男 坂井 文好 森 厚夫

- ※引き続き2つの特別委員会を設置
- 予算決算特別委員会**
委員長：牧田 秀憲
副委員長：前田 孝
委員：全議員
- 新庁舎建設特別委員会**
委員長：山田 栄
副委員長：柘植 宏一
委員：全議員

定例会の審議結果

平成30年

第3回

定例会

平成29年度一般会計
ほか各会計決算を認定

市議会第3回定例会は、8月20日に開会し、9月12日までの会期24日間で開催しました。

初日は、26議案（請願1件を含む。）を上程し、提案説明を行い、人事案件6件については、質疑、採決まで行い、決算関係議案については、監査報告が行われ、請願1件については委員会付託を行いました。

8月28日、29日、30日は、14人の議員が代表質問・一般質問を行いました。

8月31日には、各議案に対する質疑・委員会付託を行いました。

付託された各議案の審査のため、9月3日に予算決算特別委員会、5日に文教民生常任委員会、6日に企画建設常任委員会を開催しました。

9月12日には、各議案に対する委員長報告・討論・採決を行い、定例会を閉会しました。

議案

クローズアップ
close-up

承第10号
専決処分の承認を求めるとして
平成30年度美濃加茂市一般会計補正予算
(第3号)



備蓄用飲料水の運搬

災害対策事業 (535万3千円)

6月29日から7月1日にかけて、市内の一部地域で断水した際に、応急給水用に使用した備蓄用飲料水の補充等に係る経費の増額補正



給水車による給水

承第12号
専決処分の承認を求めるとして
平成30年度美濃加茂市水道事業
会計補正予算 (第1号)

(収益的支出) 水道事業費用－
営業費用 (4,086万8千円)

6月29日から7月1日までに太田・古井・下米田地区の断水が原因で発生した、個人宅やアパート、マンション、企業などの受水槽や給湯器などの汚れの清掃費用や、受水槽の水質検査費用をお支払いになった方に対して同額を給付するもの

議第48号
平成30年度美濃加茂市水道事業会計
補正予算 (第2号)

(収益的支出) 水道事業費用－営業費用 (680万4千円)
(資本的支出) 資本的支出－建設改良費 (1,400万円)

災害時における応急給水作業などを実施するに当たり、必要な給水袋や給水車を購入するためのもの

◆給水袋…1袋当たり6リットル程度の容量で、背負うことができるリュック型の給水袋1万枚を購入予定

◆給水車…加圧式給水タンク車（圧力により水をくみ上げたり、給水できるもの）で、タンク容量1.7トン、車両総重量は5トン未満のものを購入予定

定例会の審議結果

議案の審議結果

全会一致で承認・可決・認定された議案

議案番号	議案名	主な内容
承第10号	専決処分の承認を求めることについて 平成30年度美濃加茂市一般会計補正予算（第3号）	535万3千円の増額、予算総額は203億8,083万5千円 3ページ参照
承第11号	専決処分の承認を求めることについて 平成30年度美濃加茂市一般会計補正予算（第4号）	2,286万円の増額、予算総額は204億369万5千円 断水対応及び豪雨対応のため、緊急出動した職員の時間外勤務手当や、西中学校及び東中学校の倒壊の恐れのあるブロック塀の緊急改修工事等に伴う増額補正
承第12号	専決処分の承認を求めることについて 平成30年度美濃加茂市水道事業会計補正予算（第1号）	(収益的支出) 4,086万8千円の増額、予算総額は15億910万6千円 3ページ参照
議第43号	美濃加茂市印鑑条例の一部を改正する条例	LGBT（性的少数者）への配慮に向けた取り組みの一環として、印鑑登録証明書の記載事項等から性別欄を削除することに伴い、所要の改正を行うもの
議第44号	美濃加茂市体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	西体育館の建替え工事により使用料等を変更することに伴い、所要の改正を行うもの
議第45号	平成30年度美濃加茂市一般会計補正予算（第5号）	6億8,026万円の増額、予算総額は210億8,395万5千円 財政調整基金への積立金、「ねんりんピック岐阜2020」の将棋大会開催に向けた準備費用、県単かんがい排水改修工事、西中学校のエレベーター設置工事の設計費用等による増額補正
議第46号	平成30年度美濃加茂市国民健康保険会計補正予算（第1号）	6,190万2千円の増額、予算総額は52億6,416万8千円 療養給付費等負担金の超過分の返還等による増額補正
議第47号	平成30年度美濃加茂市介護保険会計補正予算（第1号）	3億3,863万9千円の増額、予算総額は42億4,362万2千円 介護給付費準備基金への積立、介護給付費負担金、地域支援事業交付金の超過分の返還等による増額補正
議第48号	平成30年度美濃加茂市水道事業会計補正予算（第2号）	(収益的支出) 680万4千円の増額、予算総額は15億1,591万円 (資本的支出) 1,400万円の増額、予算総額は7億381万4千円 3ページ参照
議第49号	市道路線の認定	市道山手514号線ほか7路線の認定
議第50号	美濃加茂市固定資産評価審査委員会の委員の選任	任期満了に伴う後任委員の選任同意（若山充氏 再任）
議第51号	美濃加茂市教育委員会の委員の任命	任期満了に伴う後任委員の任命同意（渡邊博栄氏 再任）
議第52号	美濃加茂市古井財産区管理委員の選任	委員の欠員に伴う後任委員の選任同意（森廣實氏 新任）
諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦	任期満了に伴う後任委員の推薦（伊藤左千江氏 新任）
諮第2号	人権擁護委員の候補者の推薦	任期満了に伴う後任委員の推薦（佐合良平氏 再任）
諮第3号	人権擁護委員の候補者の推薦	任期満了に伴う後任委員の推薦（福田美津枝氏 再任）
認第5号	平成29年度美濃加茂市介護認定・障がい者自立支援認定審査会会計歳入歳出決算認定	歳入3,783万5,213円 歳出3,739万8,041円
認第6号	平成29年度美濃加茂市古井財産区会計歳入歳出決算認定	歳入109万3,536円 歳出79万5,107円
認第7号	平成29年度美濃加茂市山之上財産区会計歳入歳出決算認定	歳入106万942円 歳出42万2,190円
認第8号	平成29年度美濃加茂市水道事業会計決算認定	収益的収支 収入15億6,200万2,967円 支出13億5,503万3千円 資本的収支 収入1億5,726万8,126円 支出6億289万5,837円
認第9号	平成29年度美濃加茂市下水道事業会計決算認定	収益的収支 収入23億6,247万3,987円 支出22億2,817万9,265円 資本的収支 収入10億7,385万4,392円 支出16億9,647万3,139円

賛否の分かれた議案

議案番号	議案名 主な内容	議決結果	議員名														
			渡辺孝男	酒向信幸	日置祥子	牧田秀憲	渡辺義昌	坂井知足	村瀬正樹	渡辺益巳	高井厚	前田孝	金井文敏	柘植宏一	片桐美良	森弓子	山田栄
請第1号	国に対して「消費税10%増税中止を求める意見書」の提出を求める請願 消費税10%の増税中止を求めるように国へ意見書の提出を求める請願	×	×	×	○	×	×	×	×	—	×	○	×	×	×	×	×
認第1号	平成29年度美濃加茂市一般会計歳入歳出決算認定	◎	○	○	×	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○
認第2号	平成29年度美濃加茂市国民健康保険会計歳入歳出決算認定 歳入59億9,729万4,031円 歳出58億3,616万8,219円	◎	○	○	×	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○
認第3号	平成29年度美濃加茂市介護保険会計歳入歳出決算認定 歳入39億6,191万2,311円 歳出36億1,579万5,623円	◎	○	○	×	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○
認第4号	平成29年度美濃加茂市後期高齢者医療会計歳入歳出決算認定 歳入5億7,675万1,667円 歳入5億4,527万8,005円	◎	○	○	×	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○

※認第1号の決算額は6ページに掲載

決算審査の概要

決算審査の概要

事業の進捗や予算執行の状況、議会の予算審議の趣旨が反映されているかなど、適正かつ効率的であったか慎重にチェックしました。また、平成28年度、29年度に引き続き、第5次総合計画に掲げる事業について、議会として事業評価を実施し、市長に提言を行いました（詳細は18ページ）。

〈一般会計〉

問 法人数が増加したにもかかわらず、法人市民税が減収となった要因は。

答 大手製造業において、負債事業所を吸収合併されたことが主要要因である。

問 市営住宅の過年度分市営住宅使用料において、予算額に対し、大幅な増収となった理由は。

答 徴収困難な案件は弁護士に委託しており、退去者を中心に8名の債権回収をお願いした。電話催告、面談催告、住所不明の場合は、住所調査を行って回収したためである。

問 飛騨川・木曾川多彩な交流機会創出事業が実施に至らなかった理由は。

答 平成28年度のREASAS分析により、この圏域と下呂市と連携して名古屋から人を呼ぶプログラムをつくろうと計画したが、実施する上で必要な事務局的な役割を果たす人材の選出も含めて、圏域の関係市町村

等と協議した結果、まだ事業化をする段階ではないとの結論に至った。

しかし、圏域の地域おこし協力隊の方々や美濃加茂市のまちづくりコーディネーターなどが一緒になって魅力ある圏域づくりについての検討を進めている。

問 古民家活用事業の基礎調査の結果は。

答 修繕費の算出までは含まれず、建物の図面や現状の傷み具合を調査したもので、民間事業者に見てもらったための基礎資料の作成である。雨漏りがするなど、緊急のものについては市で対応する必要があるが、今後、活用する

上で必要な修繕等については、民間活用の中で、その費用を捻出していくという考え方であ



櫻井邸

る。

問 企業版ふるさと納税推進事業について、個人と比べて企業版が思うように進んでいない要因は。

答 昨年度も視察ツアーを組み、名古屋から7社の企業、計11名の方に本市に来ていただき、里山体験や山之上まちづくり協議会のご協力のもと、里山活用のPRを行った。その後、社員研修や福利厚生などでの利用を通して、企業のイメージ、ふるさと納税によって地域課題を解決するといったこの事業の趣旨にご協力いただけるよう提案しているが、結果に結びついていない。しかし、市内に本社のない大手企業にも協力を呼びかけており、今後、成果を出せるように努めていきたい。

問 総合行政システム事業の不用額が生じた理由は。

答 作業工程等を精査した結果である。

問 地域ブランド創出事業について、不用額の理由である食品ブランド事業補助金の2件の相談が申請に至らなかった理由は。

答 事業者から企画・提案を受けて、審査をしていく段階で、美濃加茂の魅力がどれだけ伝えられるかの具現化が難しいといった、事業者サイドの都合もあり、今回については相談までで終わってしまった。しかし、今年度は既に1件相談があり、審査

会に至る状況であり、引き続き継続する。

問 情報教育推進事業の備品購入費について、今年度もICT機器を導入するが、現場では電子黒板を使用する際に、機器を移動してパソコンをセットするなど教師が休憩時間を取れない現状への改善策は。

答 各階に電子黒板の設置ができれば、移動等については軽減できるが、予算のこともあるので、各学校の必要状況を考慮し検討したい。

問 いじめ対策事業について、市内小・中学校の実際の件数と傾向は。

答 小学校79件、中学校21件の合計100件であった。傾向としては、文科省では、本人がいじめと感じればいじめであるというように定義を変えており、からかいや、ちょっとしたいたずらも子どもがいじめと感じたら、件数に上げており、やや上昇傾向であるが、昨年度のいじめの解消率は、小・中学校合わせて約90%である。

問 人物顕彰事業について、学生演劇祭の公演の観客数は。

答 184名であったが、今後はもっとPRをして、市内外から観劇をしていただけるような事業にしていきたい。

問 生涯学習活動推進事業について、古井地区の公民館祭りを総合

決算審査の概要

福祉会館で行うよう変更になったが、会館を利用するに当たり、課題はあったか。

○ 会場が変わるため、役員、係員の方もいろいろ苦慮された点はあったが、総合福祉会館の職員等にも協力いただき、アンケート等では、総じて、変わってよかったという意見が大半であった。生涯学習活動を推進するに当たり、施設にとらわれないことなく、地域の課題解決につなげられるよう、柔軟な体制で進めていきたい。

○ 保健体育費の学校給食センター業務について、学校給食の欠食等による食材の廃棄状況は。

○ 地下のボイラーが故障したため、給食を出せなかった日があり、3日間で48万4,290円分を廃棄しており、学級閉鎖で合計2,744食出していない。昨年10月23日の台風の際は、給食を中止したが、別の日に食材を融通したため廃棄処分はしていない。

○ 市民大会開催事業について、ミニテニスの普及状況をどう評価するか。

○ ミニテニスは、スポーツ推進の取り組みの中で始まっているが、出前講座等を繰り返しながら広がってきており、現在でも各地区の体育振興会等で研修事業としても行われている。人気のある取り組みやすいス

ポーツであるので、今後、ますます発展できるように、新しくできる西体育館でも用具の支援等を考えていきたい。

《国民健康保険会計》

○ 資金繰入金について、予算現額が2億3,321万5,000円であるにもかかわらず、調定額になるとゼロになっている。これを算入すれば、1人当たりさらに2万円安くできるがどうか。

○ 予算編成に当たり、平成29年度会計は、その財政運営を市で行っており、療養給付費の増加の可能性など、全てのリスクから不足しないように予算を組んでいる。平成30年度以降については、県が財政運営の主体となり、年度当初に決定された国保事業納付金によって県が療養給付費を支払う約束になっているので、リスクに備えて大きな予算を組む必要はなくなる。

《介護保険会計》

○ 第1号被保険者保険料など払えない人がいるのにもかわらず、不用額が多くなることについては。

○ 給付費の不用額については、介護保険事業計画において予算の見込みを立てているが、それに対するサービス利用量が少なかったことによる不用額である。収入未済額につ

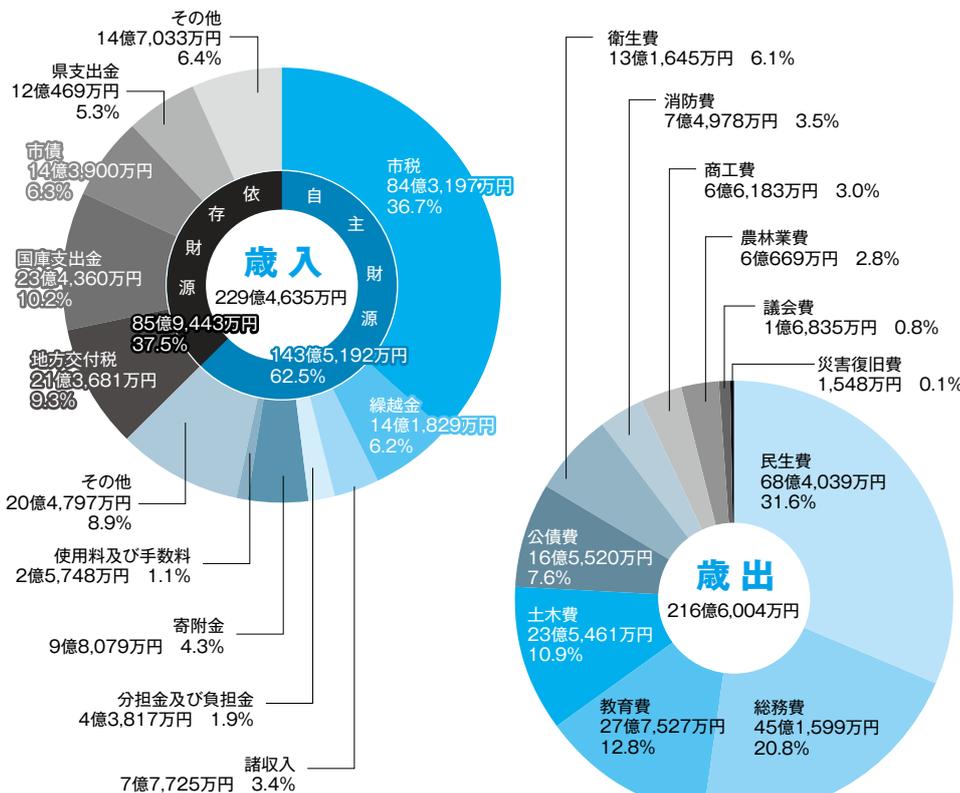
いては、現在、納付をいただけない方々に対して、国保年金課収納係と連携をとりながら、納付相談や、分納誓約をとりながら計画的に納めていただけるようお願いをしている。

《水道事業会計》

○ 有収率が90%を切っているが、有収率向上に向けた取り組みは。

○ 施工年度の古いものや、よく漏水が起る箇所等を勘察して行っているが、調査をすれば、必ず漏水管が存在するというわけではなく、平成29年度においても大きな漏水管の発見には至らなかった。

平成29年度 一般会計の決算状況



※数字は1万円以下を四捨五入しています。

委員会審査の概要

委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

※《》は議案名、◆は主な内容、（）は補正金額。

文教民生常任委員会

《専決処分承認を求めることについて 平成30年度市一般会計補正予算（第4号）》

◆中学校施設管繕工事（200万円）

問 管繕工事の内容は。

答 大阪府北部地震により、小学校のブロック塀が壊れたという事故を受けて、緊急に市内の小中学校のブロック塀について点検を行った結果、基準に沿わない学校施設のブロック塀が伊深小学校で1カ所、西中学校で2カ所あった。また、不適合ではないが、倒壊等の危険性があるブロック塀が、東中学校で1カ所確認された。これを受けて、今回中学校の計3カ所について、ブロック塀を撤去し、フェンスを取りつけるという工事を行った。なお、伊深小



工事後の写真
(東中学校の体育館北側駐輪場)

学校プールの北側ブロック塀に関しては、児童が立ち入らないようコーンを設置している。

《市体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例》

◆西体育館の完成後の利用開始に当たり、算定した使用料などの変更が必要となるため条例を改正するもの。

問 今回の条例改正で、「コートやアマチュアスポーツ以外で使用する場合の加算料金」の規定を削つた理由は。

答 西体育館はスポーツ施設だけでなくコミュニティ施設という位置づけであり、映画会やカラオケ大会など様々な用途で利用できるようにしたためである。



建設中の西体育館

《平成30年度市一般会計補正予算（第5号）》

◆食物アレルギー対応給食提供事業補助金（108万円）

問 食物アレルギー対応給食提供事業補助金の概要及び補正予算での対応となった理由は。

答 アレルギーを持つ園児のために、アレルギー食を提供する調理員を1日当たり5時間以上、雇用する民間保育所に対する補助金である。また、入園の決定時期が、2月から3月ごろであり、その後、アレルギー対応ができるように調理員を雇うことになることや、対象の民間保育所が、明応保育園、加茂学園、森山学園に加えて、今回新たにニチイキッズが対応していただけるようになったため補正予算での対応となった。

◆こども園施設整備補助金（4億2,440万6千円）

問 山手幼稚園の認定こども園移行による施設整備補助金における、県支出金と一般財源の負担割合は。

答 保育所部分と幼稚園部分が、面積案分され、その部分の入所人員によって基準額が定められている。その基準額に対して、2分の1が県の4分の1が市、4分の1が事業主の負担となっている。

問 私立幼稚園は、県の所管であるが、認定こども園になったときに、市が関わるのか。

答 認定こども園になった時点で、幼稚園も含めて指導や相談を、こども課で対応していきたいと考えて

いる。

◆文化の森費（56万円）

問 文化の森費の委託料及び備品購入費について、財源56万円のうち、44万5千円が寄附金となっているが、図書購入費及び仏像台座クリーニングに充てるのは、寄附者の希望であったのか。

答 2件から寄附を受けており、1件は、伊深親子文庫が解散されたため、保有していた金額を文化振興のために寄附いただいております。伊深親子文庫の本来の意思を継いで、図書の購入に充てる。もう1件は、市内の寺院から薬師如来坐像ほか、仏像と文化振興のために、20万円の寄附をいただいた。この仏像は、市の指定文化財であり、まず、台座部分のクリーニングを行い、併せて、岐阜県文化財保護審議会委員でもある先生に仏像の調査をしていただく。なお、今後は、文化の森の収蔵庫で保管をしていく。

企画建設常任委員会

《専決処分承認を求めることについて 平成30年度市一般会計補正予算（第3号）》

◆3ページ参照

問 ペットボトルを購入した店、購入した水量及びその算出根拠は。

答 ウスイ消防、コメリ、ゲンキ、

委員会審査の概要

パロー、アピタの5社から購入しており、購入した水量は、5万8,128リットルである。水量の算出根拠については、応急ということである程度その断水区域の人口から見積り、直ちに購入できる量を、各店舗にお願いして購入した。

問 給水車による給水を増やすことにより、ペットボトル水の購入本数を減らすことができなかつたか。

答 基本的な考え方として、ペットボトル水は飲料水として、給水車によってお配りした水は、主に生活用水として提供させていただいた。今回の断水対応について、主たる給水は給水車であるが、ペットボトル水については、持ち運びが容易であり、コンパクトで合理的に給水できる方法であるため、追加で対応した。《専決処分の承認を求めることについて 平成30年度市一般会計補正予算(第4号)》



給水所での様子

問 災害対策事業(36万2万円)

災害備蓄用飲料水の追加購入について、消費期限が、2020年5月であるが、消費期限が近づいた場合には、どうするのか。

答 防災訓練等において、各地区で活用していただくよう予定している。

問 《市印鑑条例の一部を改正する条例》
LGBTへの配慮に向けた取り組みの今後の展開は。

答 今後は、この条例以外で規定しているものについて、法令で決まっているものを除き、明確な理由がないものは、全て性別欄を削除するということを検討をしている。

《平成30年度市一般会計補正予算(第5号)》

◆ 里山千年構想推進補助金(200万円)

問 里山千年構想推進補助金のうち、薪ストーブ等購入補助事業の概要、限度額及び予算の執行状況は。

答 本事業の補助金限度額は、設置工事費を含めて、2分の1の補助で、上限が30万円である。9月6日現在までに4件、約97万円の交付申請がある。



健康の森にある薪ストーブ

◆ 災害時情報伝達体制確立事業

問 公衆無線LAN環境整備について、当初予算から国庫支出金及び市債が減額となり、一般財源が増

額となった理由は。

答 もともと学校施設でインターネットが利用できるように、公衆無線LANの設置を計画していた。学校施設は、避難所となるため、災害に係る補助申請をしていたが、普通教室は、補助対象外となり、特別教室と体育館への設置だけが対象となったためである。

《国に対して「消費税10%増税中止を求める意見書」の提出を求める請願》

賛成の主な意見

- 消費税が10パーセントになると、年間1人当たり約2万7,000円、1世帯当たり約6万2,000円の負担増になる。また、軽減税率及び適格請求書等保存方式の導入により、事務が煩雑になり、特に小規模事業者、中小企業の負担増となることから、事業そのものが成り立たなくなる恐れがある。

反対の主な意見

- 消費税が2パーセント上がる部分は、年々増加する社会保障費にまわすためのものである。また、軽減税率の導入は、生活の基盤である食料品等に対して、消費者の負担を軽減していくための措置である。さらに、適格請求書等保存方式の導入については、経過措置もある。

議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいたご意見を掲載します。

- 一般質問が始まりました。最初に壇上に立たれた議員から市長の政治姿勢を問われ、その答えとして「活力」「安心」「教育」「交流」の4つの基本施策が述べられ、次に副市長による、美濃加茂をどうみよたかの答えとして「感謝」「誇り」「持続」を大切にしたいと語りある市を目指していくと言われ、傍聴して、美濃加茂市の動きを嬉しく思いました。
- 市長就任半年ということで市長さんの思い、健康、感謝、誇りを知ることができました。また、断水、猛暑に対する市の対策、取り組みも知ることができ、今回もとても貴重な時間を過ごさせてもらいました。ありがとうございました。
- 一問一答の活発な議論は良かった。応答がピントはずれなような答えもあったが。
- 断水で大変な体験をしました。水だけでもこんなに大変なんだと、災害時の心構えが必要と思いました。井戸水に助けられました。もし電気まで止まったらと心配もできました。地域ごとに発電機も設置して欲しい。
- 職員のみならず、議員のみならずいつもありがとうございます。今日はたまたま機会があつて傍聴できて、美濃加茂市の現状を知れてよかったです。傍聴、インターネットでの閲覧も自分から興味を持つて見ないと内容を知ることができないので、興味を持っていない世代にも興味を持ってもらえるといいなと思いました。

市政一般に対する質問と答弁

14人の議員が登場し、市政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



渡辺益巳議長

■ 美濃加茂市議会 議会中継 <http://smart.discussvision.net/smart/minokamo/>

美濃加茂市議会 議会中継



議会中継

■ 視聴方法 [トップページ](#) ▶ [会議名から選ぶ](#) ▶ [平成30年第3回定例会](#) ▶

[8月28日・29日・30日 市政一般に対する質問](#)

■ 会議録検索システム <http://www.kaigiroku.net/kensaku/minokamo/menu.html>

問 総務省の女性職員活躍とワークライフバランス推進のための取組計画では働き方改革、育児・介護等と両立して活躍できるための改革、女性活躍推進のための改革を掲げているが、市内での取り組み状況は。

答 本市では、平成28年4月に、美濃加茂市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画を策定し、平成32年度までに管理・監督職（係長以上）の女性職員の割合を25%以上にすることや、平成28年度から32年度までの間、事務職採用の女性職員の割合35%以上を継続して確保するなど、5つの目標を設定した。

また、平成29年4月には、「イクボス宣言」を行い、①年次有給休暇の平均取得日数15日以上、②出産・育児や介護に係る休暇制度の活用率100%、③職員一人当たりの時間外勤務時間を年間110時間未満などの数値目標を掲げ、全職員が目標を共有し、職員が働きやすく、活躍できる組織づくりを目指しながら、質の高い



酒向信幸議員

ワークライフバランス

問 サービスの提供を目指している。仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態がワークライフバランス推進の基本的方向であり、本市が推進する「カミノ」に直結するものと考えている。こうした中、今年の9月に女性活躍推進センターが開設となるが、更なる展望は。

答 9月21日には、アピタ1階のあじさい子育て広場内にカミノ事業を推進するための拠点として、「女性活躍支援センター」を開設する。

これまでも、各種講座やセミナー、そしてイベントを随時開催して、女性活躍支援を行ってきたが、当支援センターを常設することにより、伴走型の就労支援、子育て相談、キャリアアップ、スキルアップ、そして結婚相談などの場を提供し、気軽に参加でき、女性が輝けるまちなぎの実現を一層加速したいと考えている。



みのかも女性活躍支援センター「Re:Ola(リオラ)」

市政一般に対する質問と答弁



牧田 秀憲 議員

平成29年度決算

問 平成29年度の決算の総括について市長の思いは。

答 平成29年度の予算編成を振り返ってみると、当時、経営企画部長として編成作業に携わっていたが、少子高齢化の影響により、福祉や医療にかかる扶助費や、老朽化した公共施設の改修費等が増加するなど、財源が不足する厳しい状況での予算編成であったことが思い出される。

そこで、将来負担比率ゼロを堅持するなど、各会計とも健全財政を維持しながらも、市の中心となる一般会計では、地方創生の柱である人口減少対策としてまち・ひと・しごと創生総合戦略「カミノー」に掲げる事業を実施するとともに、経営方針に基づき「もっと教育」、「もっと活力」、「もっと安心」、「もっと交流」の4つの項目に沿って、重点施策を推進した。

地方創生の取り組み

問 2017年度総合戦略の中間のKPIの総点検をふまえて本

市における4年目の成果は。

答 まち・ひと・しごと創生総合戦略「カミノー」を推進するアクションプランを、計画の3年目の中間年となる平成29年度に見直し、現在、35事業を展開しているところであり、それぞれの事業にKPI指標を設けて、その進捗状況を管理している。

全35事業に42のKPIを設定しており、そのうち4つのKPIについては、30年度から指標を測定するため、実質38のKPIに対する29年度末実績をみると、目標を達成したものは25であり、約66%であった。

カミノーを構成する5つのライフスタイル別にみると、「出会い・結婚『家族をつくれる』」の分野が、達成率約43%であり、今後様々な場所、機会において、一層の「出会い」と「交流」を促進していく。

また、9月に開設する「女性活躍支援センター」の積極的な活用により、市民にカミノーをより身近に感じてもらう、まちぐるみで女性が輝けるまちづくりによる活性化策を展開していきたい。



高井 厚 議員

本市の水対策の向上

問 今夏は、大雨による断水、高温と降雨不足に悩まされてきた。水の無駄遣いをなくす啓発やその行動化を促し、水の確保方法を多角化するなどの観点から伺う。市内に大規模な井戸をいくつか掘ることで、河川水に頼る現況を少なくしていけないものか。

答 井戸の活用は、非常に有効なものと考えているが、上水道事業の一部を補うほどの水量が確保できるかどうか、飲料水としての水質など不明な点が多いこと、また大量の地下水をくみ上げることによる周辺への影響も考えると、常に井戸水に頼るシステムにすることは難しいと考える。

問 市民や自治会などで、新たな井戸を掘る場合は、金銭的助成をしてはどうか。

答 市では「災害時協力井戸制度」の研究を始めており、議員の提案も含めて、他市の事例も参考にしながら、早期に創設できるように検討する。



中山道会館にある手押し井戸

問 木曾川右岸用水導水路の維持管理補強工事の進捗状況と、今後のバイプライン改築の見通しは。

答 白川導水路は、建築から約40年が経過し、老朽化が進行している状況にある。平成27年度から6年間の工期で、導水路は改築が必要な6・34kmの工事が始まり、平成29年度までに約40%が完了していると聞いている。また、本市の土地改良区が管理する農水管理については、まだ石綿管が残っている地域があり、その更新を優先した上で営農状況を確認しながら計画的に進めていく。

問 今回断水に追い込まれたことから、次年度以降の予算化に生かす事柄は。

答 来年度予算に向けては、上野配水池と森山配水池を結ぶ緊急連絡管増強及び森山配水池から森山浄水場への新たな送水管の設計と一部着手などを予定している。

市政一般に対する質問と答弁



日置祥子 議員

保育

問 2017年2月に公立保育園施設整備計画が示されたが進捗状況は。

答 この計画及び公共施設等総合管理計画の中で、施設の統廃合や民営化などを検討すべきであるとされており、今年度、PFI可能性調査を進めている。

問 3歳児未満と3歳児以上のそれぞれの特徴児童数は。

答 今年度は、8月28日現在まで、ともに待機児童は発生していない。

問 来年度に国が3歳児以上の保育料無償化を検討しているが、それに伴う需要増の見通しは。

答 市内の3歳児以上の子どもは、ほとんどが保育園または幼稚園に通園しており、無償化が実施されても施設量や就園率という観点から言えば、大きな影響はない。

問 市の認可保育園ニーズ調査は認可保育園が61.6%、幼稚園が43.7%になっている。この結果をどのように受け止めるか。

答 認可保育園だけでなく、民間

の託児所や森のようちえんなどに預ける方もいる。選択肢があることは個々の事情に応じて考えることができ、子育て環境が整えられてきている、と感じている。

介護保険

問 平成30年度介護保険制度の主な改正点は。

答 ①自立支援・重度化防止に向けた保険者機能の強化の取り組みの推進、②介護医療院の創設、③共生型サービスの創設、④2割負担のうち、特に所得の高い層の負担割合が3割となるなどである。

問 生活援助ヘルパーは専門職ヘルパーから緩和された基準のヘルパーに代わるのか。

答 訪問介護の生活援助サービスの担い手の資格要件が緩和された。新たに創設される研修(計59時間)を修了した者であればサービスを提供できる。これは、人手不足解消のための施策である。

問 介護保険料について市独自の減免措置は。

答 所得段階の区分を16段階とし低所得者の負担を軽減している。支払いに関しては可能な限り分納など相談に応じる。



片桐美良 議員

小中学校のプール

問 各学校プールの使用状況は。

答 1学期の授業での使用回数は平均9.15回であり、夏休みまでは0.1回であった。

問 各学校プールの使用課題は。

答 プール槽自体の傷みやプールサイドの劣化など老朽化が進んでいる。

問 今後のプール使用方策は。

答 民間施設の活用や、委託について検討を開始している。

認知症

問 認知症サポーターの人数は順調に増えているか。

答 平成30年3月末現在、延べ6,805人が受講されている。また、平成25年度からは、各小中学校でキッズサポーターの養成講座を実施している。

問 養成講座を履修された方の受講後の取り組みは。

答 平成28年度からステップアップ講座を開催し、平成28年度は18名、平成29年度は15名が受講された。そのうち21名が「想い出カフェ」でボランティアとして活躍

いただいている。
問 認知症初期集中支援チームや、地域支援推進員の取り組み状況は。

答 初期集中支援チームは、平成28年10月に設置して、平成30年3月末までに17事例に対して助言、指導等を実施した。また、地域支援推進員は、5名が中心となり、認知症施策を推進している。

問 徘徊行方不明者の早期発見に向けた取り組みは。

答 地域ネットワークの構築や行方不明高齢者探索模擬訓練を実施している。

多世帯同居

問 多世帯同居についての考えは。また、住宅支援制度の創設の考えは。

答 三世帯同居の推進は、有効な施策のひとつと考えている。住宅支援制度の創設は、今後の検討課題であると考えている。

問 多世帯住宅建築への課題についての考えは。

答 農地法、都市計画法、建築基準法などをクリアすることや、建築資金の確保など課題がある。将来に渡って地域を持続するためには、住宅リフォーム促進や空家・空地の有効活用などの施策を推進することが重要と考えている。

市政一般に対する質問と答弁



渡辺義昌 議員

牧野ふれあい広場の活用

問 現在の利用状況は。

答 美濃加茂市体育協会に加盟しているサッカー協会、陸上競技協会、アーチェリー協会に所属している方々が、競技の練習場として年間約11,800人の方が利用されている。その他、毎年6月には、市の消防操法大会に関連して約700人の方が利用している。

問 管理についてはどのようにしているか。

答 現時点では、整備されていないため運動施設としての位置づけがなく、利用に関しては、いつでも誰でも利用できる状態にある。維持管理に関しては、状況に応じて除草作業を行うなど、必要最低限の対応をしている。

問 サッカーの練習やアーチェリーの練習などで利用されるのであれば、整備し、環境を整えるべきではないか。

答 現在は、牧野ふれあい広場を整備していくための基本設計を進めているところである。

進捗状況としては、測量業務を5月末までに完了し、現在、測量

結果を基に、流量計算や貯留施設の設置検討をはじめ、法的な諸条件を整理し、施設整備の設計を行っている。また、整備する施設や調整池等に要する費用を含め概算経費をまとめており、整備スケジュールを作成している。

問 可茂地域には正式な陸上競技場がなく、特に400mトラックを必要とする競技は関市、各務原市等の競技場で行っている。建設に向けての計画は。

答 基本構想には、400mトラックを中心とした陸上競技場も含まれている。

基本設計の内容については、まとまりしだい地元の方々をはじめ、関係団体や議会の皆様方に報告する。

問 地元説明会や過去の議会答弁等で、基本計画に着手する旨の話や答弁が何度もされているが、本当に着手されるか。

答 必ず整備しなければならない場所と考えている。

健康は自ら守る、地域で守る、社会で守る。

健康をキーワードとした施設として、スピード感をもって対応していく。



山田栄 議員

県道207号線(旧国道21号)美濃加茂市御門町から各務原市鷺沼東町間の未整備の4力所の取り組み

問 神明堂交差点は、脇道がある変則5差路の交差点で事故が発生しやすく歩道整備が進んでいない。脇道の対応、右折車線の整備、歩道の整備についての対応は。

答 神明堂交差点から御門交差点まで改良工事が完成している。神明堂交差点以西の右折レーン設置及び歩道設置計画は現在予定していない。

問 市役所本庁入口の右折車線の整備や、歩道改良の考えは。

答 庁舎駐車台数の減少や植栽帯などの大幅な改良工事が必要となるとともに、用地不足の可能性もあり現段階では困難と考えている。

問 太田本町5(太田小北口門前)交差点は変則的な交差点構造となっており、小学校の北口門を含むと5差路の交差の状態であり、安全性が問われている。右折車線整備、歩道整備について及び隣接する太田小の公園工

リアの改良工事の考えは。

答 抜本的な交差点改良整備には用地確保など多大な費用と時間を要し、現実的には困難な状況である。道路利用者への注意喚起などソフト対策を検討していく。また、太田小学校駐車場及び逍遙公園の改修は現在考えていない。

問 深田町交差点は3差路で右折車線整備、歩道整備が必要であり、本年春から社協の施設も交差点に接して開設された。整備の考えは。

答 国から平成26年に事業化は不可能との回答をいただいたが、当面は交通量や利用状況を注視していく。

断水対策

問 公共避難施設に井戸を設置・整備し、飲料水を確保する考えは。

答 施設周辺にある既存の井戸の利用協力なども含めて総合的な防災対策として、公共施設への井戸の設置を検討する。

問 自助・共助・公助の展開として井戸掘りに対する補助制度創設の考えは。

答 市では、災害時協力井戸制度の研究しており、この中で新たな井戸の掘削に対する補助制度も検討する。

市政一般に対する質問と答弁



村瀬正樹 議員

木曾川3公園の豪雨被害

問 中之島公園の浸水域をどう想定しているか。

答 木曾川の高水位は12・1メートルで、中之島公園の高さに換算すると、公園ビクターハウスのエントランス程度の高さになる。7月の豪雨では、水位は8メートルあり、旧ライン下り乗船場テント下の床面から、約80センチメートル下が水位だった。

問 修理復旧費の額と財源は。

答 化石林公園が430万円、ライン公園が250万円、中之島公園は工事に必要な測量設計費が310万円である。中之島公園の復旧工事は、災害復旧補助金が交付されるよう、国、県と協議を進めている。

問 中之島公園護岸全般の強度化を進める考えは。

答 被害を受けた護岸



リバーポートパークの浸水状況 (H30.7.6)

は土羽構造となつている。同様な被害を受けないよう、強固なコンクリートのブロックで整備する計画である。

小中学校水泳授業のあり方

問 小中学校のプール設備はいつまで維持できるか。

答 学校施設の長寿命化計画の中で、プールの老朽化診断を行う。その結果により見通しがもてるかと考えている。財政上の課題もある。現在のプールを適切に管理して、長寿命化に努めるとともに、民間プールの活用についても先進事例を参考に、水泳授業のあり方を考えていく。

問 小学校学習指導要領にある「水泳場がない場合は、現場で水遊び水泳運動をしなくてもよいが、安全の心得は必ず取り上げよ。」についての見解は。

答 水泳実技を実施する際の心得を指導することを求めている。実技以外の指導や、生徒指導的な側面からの指導も行っている。また、学校のプールやリバーポートパークの体験学習の中で、着衣水泳などを学ぶ計画を立てている小学校が6校あり、他の学校にも啓発していきたい。



柘植宏一 議員

小規模多機能自治

問 美濃加茂市では5次総で平成26年度までに全ての地域にまち協を設置することを目標としたが、古井、太田、蜂屋の3地区で未設置であり、既設置のまち協でも自治会などの連携に課題を残している。伊賀市、名張市などでは条例等でまち協と自治会などの役割分担を規定しているが、本市においてはこうした枠組みがないことがまち協設置推進の障害になっているのではないか。

答 名張市が作った条例、規則は名張市独特のものであって、名張市の時代背景あるいは課題、いろいろな問題が集約されていると思う。我が美濃加茂市ではそういったことは勉強させていただくが、それが全てではないと思つているので、市としての課題を明記したものを作っていきたい。

新庁舎整備

問 新庁舎整備に関わる候補地選定において、中心市街地活性化の視点も重要と考えるがどう

か。

か。

答 「未来のまちづくり委員会」に諮問している、立地適正化計画におけるまちづくりの基本方針では、美濃太田駅を中心としたコンパクトエリア内のまちづくりの考え方をまとめていくことになるため、中心市街地の活性化につなげていく議論も必要不可欠であると考えている。

緊急災害時における情報伝達

問 6月末の断水においては、情報伝達機能の脆弱性が改めて問題提起された。将来予想される災害緊急時における、正確かつ確実な情報伝達の必要性が増している。すぐメールみのかも等のSNSと、住民相互の電話や対面による情報伝達を組み合わせ、デジタル・アナログ融合の緊急時情報伝達ネットワークの構築が有効と考えるがどうか。

答 ぜひ、自治会や自主防災組織などで、デジタル利用による情報取得と住民相互による情報伝達の在り方を探ってもらい、それぞれの地域に合った緊急時情報伝達手段を早期に構築してもらうことを期待する。

市政一般に対する質問と答弁



前田 孝員 議

6月29日の断水問題

問 森山浄水場の取水を止めた理由は。

答 6月27日から28日にかけて飛騨地方で発生した大雨により、飛騨川の水の濁りと臭いがひどくなり、回復の見込みが立たなかつたため取水を停止した。

問 古井・太田・下米田・牧野地区のみ断水となつた理由は。

答 市の水道水の供給の仕組みによるところであり、市の水道水は、森山浄水場で作る自己水と県営山之上浄水場で作る県水で賄われている。下米田・牧野地区は自己水のみで供給されており、太田・古井地区は、約6割が県水、約4割が自己水で供給されている。いずれの地域も自己水の供給がなければ水を確保することができないため今回の事態となつた。

問 森山浄水場と山之上浄水場との配水管の連結はどの様になつているのか。

答 直接連結されていないが、森山配水池と上野配水池の間に緊急時に利用できるよう緊急連絡管が設置してある。

問 今後どのような改修が必要か。

答 森山浄水場の改築や機能強化、新たな管路、貯水施設の整備増強を検討する。

問 断水発生時に市民への情報伝達は、どのような手段で行つたのか。

答 防災行政無線やすぐメールみのかも、ホームページ、SNS、広報車で行つた。

問 給水所に行くことができない市民への対応策は。

答 移動式の給水班2班を配備して、断水区域内の巡回給水活動を行った。

問 災害時使用可能な井戸の実態調査とマップ化についての見解は。

答 井戸水の有効活用のために災害時協力井戸制度を創設する。

災害時情報伝達体制確立事業

問 防災ラジオの貸与状況は。

答 8月20日現在、1,155台である。

問 防災ラジオ貸与について、貸与資格基準の変更は。

答 防災ラジオを貸与することは、情報伝達の手段として有効であると考へており今後、柔軟に対応できるよう検討していく。



金井文敏員 議

防災無線の難聴対策

問 すぐメールみのかもの登録状況は、1万件程度であるが、防災無線の難聴対策として有効であるため、推進する必要があるのでは。

答 「すぐメールみのかも」は、情報伝達の手段として非常に有効であり、「広報みのかも」の最終ページや、ホームページで紹介しPRに努めている。また、登録方法の案内を、市の防災安全課等の窓口でも行つている。

問 テレフォンサービス(0180-99-5501)は、聞き逃した情報などを後から聞く方法として、市民に十分周知する必要があるのでは。

答 テレフォンサービスも「すぐメール」同様ハザードマップに掲載しPRする。また、ホームページで電話番号を表示し、広報等で周知し、現在表示している「メール配信サービス」も目立つような表示を検討する。

児童の側に立った学校給食のアレルギ対策

問 食物アレルギーの種類と割合

は。

答 今年度の調査では、給食を提供している10小学校と3中学校で89種類の食品に対して、延べ887人がアレルギーを示している。一番多いのは、「卵」で92人で20・48%、次いで「キウイフルーツ」が87人で19・38%、3番目は「乳・乳製品」が63人で14・03%となっている。

問 安全な学校給食の考え方は。

答 各学校には、学校保健安全委員会があり、食物アレルギーの対応をしている。学校給食センターでは、レベル1(詳細な献立表対応)の対応を行つており、物資選定委員会では、アレルゲンが少ないものを優先している。その委員は、保護者にもお願いしている。

聴覚障がい者への行政サービス

問 行政相談等窓口や在宅での対応について、職員が適切に対応するためには、必要な要領を定める必要があるのでは。

答 窓口では、手話通訳者を1名配置している。在宅時の市からのお知らせや同報無線の内容等については、「すぐメール」に登録又はファックスによる方法で情報伝達を行っている。在宅で相談したいことは、メールやファックスに対応する。

市政一般に対する質問と答弁



渡辺孝男 議員

同報無線放送

問 今回、大雨警報等で学校が休みになったが、地域の見守りボランティアの方には情報伝達がされなかった。今後この方々に對する情報伝達は、どのようにするか。

答 見守りボランティアの方に情報が伝達されないという課題があり、防災無線以外のF10メールの登録をお願いし、学校を通じてF10メールの登録ができない個別の案件については、各学校と連絡を工夫するよう進めている。

農業用ため池の安全性

問 西日本豪雨災害で農業用ため池が崩壊し大きな被害が発生したが、市として安全確認を実施したか。また、本市には、ため池ハザードマップが作成されているが、今回の災害で地域住民の安全対策として説明が必要とと思うが、市の考えは。

答 ため池の安全確認については、国から各都道府県に対して、

ため池の点検をするよう指導があった。この指導に伴い、市内のため池点検は、岐阜県可茂農林事務所により実施した結果、緊急に修繕等が必要な箇所は確認されなかった。ため池ハザードマップは、市のホームページでも公表している。地域住民への説明については、該当する自治会に、必要に応じて説明をしていく。

感震ブレーカー

問 震災後停電が復旧し、通電が再開される際に発生する「通電火災」を未然に防ぐのが感震ブレーカーである。市民に家庭用火災警報器同様に、感震ブレーカーの認知度向上策も必要と考えるが、市の考えは。

答 感震ブレーカーの有効性は認識しており、市のホームページに掲載してPRを行っている。また、今年度配布を計画しているハザードマップ改訂版にも感震ブレーカーの有効性について掲載したいと考えている。



内閣府・消防庁・経産省作成チラシ



坂井知足 議員

「共通投票所」の設置

問 選挙における投票率の向上を図るため、公職選挙法が改正され、投票日に駅や商業施設など利便性の高い施設で投票できることになっているが、本市の取り組みは。

答 有権者にとって大変利便性の高いものであるが、法律の改正以降、この制度を取り入れたのは、わずか4自治体と少なく、全国的な広がりが進んでいない状況である。これは、二重投票を防ぐシステム構築費用やネットワーク上の課題等から、慎重な判断が求められているからである。本市も同じ考えで、今後、各自治体の動向を注視し研究を進めるが、現段階における導入は、時期尚早と考える。

ブロック塀等の危険箇所の点検と対応

問 大阪府北部地震で女子児童が死亡した事故を受け、県内市町村では民間施設のブロック塀の安全点検をしているが、本市の点検結果はどうであったか。ま

た、先に行われた小・中学校の緊急点検の結果と対応は。

答 民間施設のブロック塀の安全点検については、8月から小・中学校の通学路を重点に点検を始めている。点検内容は、傾き・ひび割れや高さ・厚さなどで、9月末を目途に鋭意調査を進めている。危険と判断された施設に対しては、所有者に結果を伝えて、適正な管理をお願いしている。また、小・中学校においては点検の結果が、基準不適合や倒壊の危険性のあるブロック塀は、小学校で1カ所、中学校で3カ所確認され、立ち入り規制や撤去、取替工事を進めている。

成人年齢の引き下げによる行政対応

問 民法改正により、2022年から成人年齢が18歳となる。現在の中学生が対象となるが、行政の取り組みは。

答 今回の成人年齢の引き下げは、若者の社会参加を促すものであり、現在、学校教育、青少年の健全育成、未来を担うリーダーの育成など、各課が連携して各世代に対し切れ目のない支援を行っている。今後、若者が自分たちの将来に責任を持ち、積極的に社会参加できる取り組みが重要と考える。

市政一般に対する質問と答弁



森 弓子 議員

断水と給水制限

トイレの水問題は。

問 水洗化の普及により、トイレの洗浄水の確保は、大きな課題となっている。市民の皆様は、風呂の残り湯の活用や雨水貯留タンクの設置による水の確保などの啓発をされるとともに、現在検討している「災害時協力井戸制度」の活用により、地域で助け合っていくことも考えている。

問 独居・高齢者世帯への対応は。

答 ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等の中で、要支援・要介護認定の方について、家庭訪問等による飲料水及び生活用水の確保等についての支援を実施した。避難行動要支援者台帳登録者に対しては、民生委員さんに、断水についての情報提供を行い、電話による連絡や訪問等により支援をしていただいた。今後、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等、支援の必要な高齢者と支援内容を把握し、対応できる体制整備を整えていく。

問 ホームページで情報の公開が
できないか。

答 森山浄水場の運転状況の一部を定期的にホームページで公開す

るなど、水道に関する情報提供を充実し、市民の皆さんの理解を得ることができるようになりたい。

子どもの居場所づくり

問 多様な居場所づくりの今後の
取り組みは。

答 津田記念館で開催されている「和の学校」や、今夏に、三和小学校で保護者が開かれたキッズクラブや、15年も続いている牧野交流センターの夏休み子ども講座等、すでに地域の皆様が、子どもたちに居場所を提供していただいている。最近、新聞紙上で県内他市の地域の方々が、子どもの居場所づくりに取り組んでいる事例が紹介されていたが、他の部署とも連携しながらフロム0歳プランの柱の一つである「面の教育」を推進していきたい。

下米田保育園

問 用地の確保はどうなっているか。

答 今年度、PFI可能性調査を発注し、民間事業者に対し、下米田保育園のことだけではなく市全体の保育園を対象に、サウディング市場調査を進めている。これらの結果を踏まえて土地の選定をしていきたい。

議会日誌 (主なもの)

8月	1日	議会運営委員会	6日	大垣市制百周年記念式典(大垣市)
	2日	美濃加茂市未来のまちづくり委員会	7日	坂祝町制施行50周年・坂祝町社会福祉協議会設立25周年記念式典(坂祝町)
	3日	名濃バイパス建設促進期成同盟会 定期総会(小牧市)	9日	新議員研修
	4日	おん祭MINOKAMO夏の陣	10日	あい愛バス新バス車両お披露目式
	5日	県消防操法大会(郡上市) 市スポーツ少年団大会	13日	市戦没者追悼式
		あじさいまつり写真コンクール 表彰式	14日	大樹の遊具完成披露セレモニー
	9日	国道418号整備促進期成同盟会 定期総会	15日	議員全員協議会
	16日	議会運営委員会	18日	市議会第1回臨時会
	18日	予算決算特別委員会(抽出事業説明会) 「8・17災害」防災シンポジウム(白川町)	20日	e・kamonまるごと環境フェア
	20日	市議会第3回定例会(9月12日) 新庁舎建設特別委員会	21日	おん祭MINOKAMO秋の陣
		議会だより編集委員会	25日	企画建設常任委員会協議会
	24日	県後期高齢者医療広域連合議会 定例会(岐阜市)	26日	文教民生常任委員会協議会
	27日	岐阜県市議会議長会議(恵那市)	27日	関・美濃加茂・郡上・下呂・富加道路網整備促進期成同盟会(郡上市)
9月	6日	共同募金会美濃加茂市支会監査	28日	市社会福祉大会
	7日	美濃加茂市未来のまちづくり委員会	29日	市文芸祭表彰式
	12日	予算決算特別委員会(事業評価) 議会だより編集委員会		防災訓練
	14日	議会による事業評価に基づく提言		議会運営委員会
	21日	みのかも女性活躍推進センター オープニング		
10月		シルバー人材センター要望受付		
		共同募金会美濃加茂市支会理事会		
10月	1日	当選証書付与式		

次の定例会の予定
平成30年市議会第4回定例会

11月30日(金) 初日
12月10日(月) 一般質問
11日(火) 一般質問
12日(水) 質疑
20日(木) 最終日

場所: 市役所本庁舎3階 議場
時間: 午前9時から
(最終日は委員会終了後)

※日程は都合により変更となる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

議員紹介

◆任期:平成30年10月13日～平成34年10月12日

※左側の数字は議席番号。年齢は平成30年11月1日現在。

①住所 ②党派 ③会派 ④当選回数

1



ながた のりお
永田 徳男 (66歳)

①森山町 ②無所属
③結いの会 ④1回

2



たぐち ともこ
田口 智子 (42歳)

①山手町 ②無所属
③結いの会 ④1回

3



さかい ふみよし
坂井 文好 (61歳)

①蜂屋町 ②無所属
③結いの会 ④1回

4



さご のぶゆき
酒向 信幸 (48歳)

①下米田町 ②自由民主党
③結いの会 ④2回

5



わたなべ たかお
渡辺 孝男 (66歳)

①川合町 ②無所属
③結いの会 ④2回

6



また ひでのり
牧田 秀憲 (51歳)

①本郷町 ②自由民主党
③結いの会 ④3回

7



わたなべ よしまさ
渡辺 義昌 (60歳)

①下米田町 ②無所属
③結いの会 ④3回

8



むらせ まさき
村瀬 正樹 (68歳)

①蜂屋町 ②無所属
③新生会 ④3回

9



たかい あつし
高井 厚 (70歳)

①加茂野町 ②無所属
③新生会 ④3回

10



まえだ たかし
前田 孝 (76歳)

①蜂屋町 ②日本共産党
③日本共産党市議団 ④4回

11



かない ふみとし
金井 文敏 (61歳)

①蜂屋町 ②公明党
③市議会公明党 ④4回

12



つげ ひろいち
柘植 宏一 (65歳)

①島町 ②無所属
③新しい風 ④5回

13



かたぎり みよし
片桐 美良 (67歳)

①山之上町 ②無所属
③結いの会 ④5回

14



もり ゆみこ
森 弓子 (64歳)

①牧野 ②無所属
③結いの会 ④6回

15



もり あつお
森 厚夫 (68歳)

①加茂野町 ②無所属
③新生会 ④7回

16

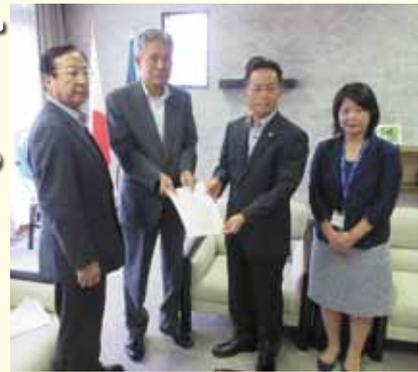


やまだ さかえ
山田 栄 (66歳)

①太田本町 ②無所属
③結いの会 ④7回

活動
ピックアップ

—議会による事業評価—
今年度の提言を
行いました。



市議会では、平成28年度から「予算決算特別委員会」を設置し、予算と決算の総合的・一体的な審査を行っています。その活動の一環として、議会が市の各事業を個別にチェックする「事業評価」に取り組んでいます。

今年度も、対象事業の抽出やそれぞれの事業に対する評価などについて審議を重ね、10事業について、議会としての意見を付し、市長に直接提言しました。これらの提言が、執行部において十分に検討がなされ、来年度の予算や各事業の取り組みに反映されることを求めています。

今後も、この提言に基づく予算や事業への反映について、執行部から報告を求めるとともに、引き続き調査を行っていきます。

〈平成30年度 議会による事業評価 提言一覧〉

事業名	評価	提言の主な内容
小規模特認校制度推進事業	継続	・学校規模適正化のための制度であるため、今後は統合問題も視野に入れ、制度の在り方や充実方策を図る。
バス路線対策事業	継続	・他の交通機関との連携を深め、ダイヤ改正などにより、市民の利便性を高める（乗り継ぎで待ち時間の解消など）。 ・高齢者にやさしいバスの運行（ボランティアサポーターや弱者への料金等）
まちづくり協議会事業	拡充	・自治会活動との住み分け・連携の明確化 ・未設立地区に対するまちづくり協議会設立への準備を地域の理解のもとに進める。
保育園ICT活用事業	継続	・市内全園による取り組み成果発表などを実施し、保育士間の問題点を洗い出し、さらなる有効性を高めながら検証する。
認知症施策総合推進事業	拡充	・認知症の方を抱える家族への具体的支援策のさらなる充実
災害時情報伝達体制確立事業	拡充	・すぐメールみのかもに緊急用の項目追加と普及促進 ・防災ラジオの配付拡大と発信情報の充実
クリーンパートナー事業	継続	・もっと多くの方に理解いただき参加者を増やす努力をする。 ・制度に対する認知度を高め、事業のさらなる充実を図る。 ・補助の充実
老朽管布設替事業	継続	・事業にもっと積極的・可及的速やかに取り組む。 ・有収率の向上を図る。
名古屋市民をみのかも定住自立圏域へ招くツアー事業（定住）	縮小	・圏域の町村の具体的なプランの提示 ・定住につながるような事業にする。
Caminho推進事業	継続	・総合戦略としてのカミーノの位置付けとアクションプラン事業の明確化 ・さらなる市民への周知・PR

編集後記

9月30日に市議会議員選挙が執行され、10月13日から新たに4年の議員の任期が始まりました。また、10月18日の平成30年第1回臨時会では、正副議長が決まり、美濃加茂市議会の新たな船出となりました。

さて、議会だよりの関係では、この4年間、紙面のカラー化や、各議員が作成する一問一答方式のページ導入など、様々な改善をしてまいりました。今後4年間につきましても、さらに市民の皆様読んでいただき、親しんでいただけるような紙面づくりに努めてまいります。

議会だよりに対するご意見やご提案等がございましたら、議会事務局まで、どうぞお寄せください。

議会だより編集委員会一同

第1回臨時会の議場装花



議場に飾られている花は、加茂農林高校園芸流通科3年生の生徒さんに作っていただきました。

次回の議会だよりは、平成31年2月1日を予定しています。ご意見ご感想は、市議会ホームページ（ご意見・アンケート）、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。

